

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 研究課題番号 | 3RF-2002                  |
| 研究課題名  | アルミニウムドロスを利用した悪臭物質の分離除去技術 |
| 研究実施期間 | 令和2年度～令和4年度               |
| 研究機関名  | 東北大学                      |
| 研究代表者名 | 平木 岳人                     |

#### 1. 委員の指摘及び提言概要

社会実装を視野に入れた検討を進めており、一定の成果を得ている。ドロス湿式処理に伴う副生廃水の取り扱いが決定的に重要との研究者自身の見解を含めて、着実に初年度の成果が得られている。事業化に向けたヒアリングを含め、事業化を全体的によく検討されている。一方で、目標に対する進捗は着実であるが、将来の実用化への道筋は必ずしも明らかになっていない。希望的解釈が散在し、トータルシステムの提案として弱いままである。達成目標がぐらついている感を受ける。無害化で終わるとすれば、あまり大きなアウトカムは期待できない。環境政策への貢献で述べたことと、現在実際にやっていることはかなり距離があるのではないかと。

#### 2. 採点結果

評価ランク：A